

戦気 NO-36

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



12月6日 スーパーフライ級タイトルマッチ 福本雄基 7R TKO負け

12月6日、後樂園ホールで日本スーパーフライ級タイトルマッチが戦われた。チャンピオンは協栄ジム所属の佐藤洋太選手(22戦19勝10KO2敗1分)。佐藤チャンピオンは、正規チャンピオンが怪我のため防衛戦を戦えなかった関係で今年5月に暫定チャンピオン決定戦に登場。その戦いに勝ち、更に9月に正規チャンピオンとの統一戦に勝利した。その防衛2戦目の対戦相手として三谷ジムの福本雄基を選んだ。波に乗り自信満々の佐藤チャンピオンは、幼い二人の子どもたちとよく遊ぶ子煩悩な父親の面を個人ブログ『洋太の部屋』に綴っている。一方、スーパーフライ級6位の挑戦者福本の戦績は14戦11勝3KO3敗で三谷ジム初のチャンピオンベルトを獲得するため全力で戦った。

1ラウンドから長身で腕の長い佐藤選手の高速度ジャブと強いワンツーが度々福本の顔面を捉え、ヒットしたかと思うや素早く距離をとりアウトボクシングに徹する。福本は距離を詰めないことにはパンチが届かない。福本は2ラウンドから積極的に前に出て佐藤選手を捕まえに行くが、佐藤選手は軽やかな足捌きでなかなか捕まらない。福本にとっては苦しい展開となる。3、4ラウンドで佐藤選手が接近戦に出たので福本は待ってましたとばかり打ち合いに巻き込む。しかし5、6ラウンドと佐藤選手は再びアウトボクシングに変え、ジャブと強いストレートを福本に見舞う。7ラウンド中盤過ぎに福本の顔面を捉えた重いストレートに次ぐラッシュは福本を仰け反らせ左頬を切り裂いた。福本が守勢一方になった2分18秒で浦谷レフリーは両者の間に入りTKO宣言を行った。福本は自分の持てる力の全力で戦ったが戦冠はならなかった。佐藤チャンピオンは、ジャブは速く、ストレートは重く、フットワークは軽く、そして強かった。

三谷会長のコメント

福本は、準備万端でリングに上がり調子も良かったが佐藤チャンピオンの方が全てで上回っていた。今日は完敗です。距離を取られての速いジャブと強いストレート。福本に飛び込ませてラッシュさせたがかわされた。7ラウンドで止められたが判定に行っても福本の勝ち目はなかった。福本は全てをやったけれど通用しなかった。佐藤チャンピオンは立派な強いチャンピオンです。三谷ジムとしてまだ結果が出せていないけれど数年後には出せると思う。

福本の言葉

チャンピオンとはボクシングがしたかったけれどさせてもらえなかった。ジャブが思ったより速く懐が深くパンチが当たらなかった。



ごんごちゃんを見た!!

12月1日から『SPACE BATTLESHIP ヤマト』という題名で『宇宙戦艦ヤマト』がCGを駆使した実写版として木村拓哉主演で上映されています。早速観に行きました。地球滅亡の危機を救うため地球防衛軍に志願した主人公の古代進が放射能浄化装置を地球に持ち帰るべく太陽系から惑星イスカンダルへ向かう。敵との壮絶な戦いの中で隊員たちは壮絶に死んでいく。放射能浄化装置を手に入れ地球への帰還中に最後の戦いの中で古代進は隊員全員を退艦させたあと、敵を殲滅すると同時に自らも死んでいく。最後まで諦めず責任とは何か、を考えさせられる映画ですね。それにしてもキムタクはカッコいいですね。



選手控室

敗れた選手の控え室

言葉も少ない。コンクリートの部屋の空気は重く沈んでいる。途切れがちにぼそぼそとした低い声が静かに聞こえる。敗れた選手にインタビュアーが遠慮しがちに声をかける。

「戦ってみて対戦相手の印象はどうでしたか」

「事前に立てた作戦と実際とでの違いはどうでしたか」

敗れた選手の口は重い。先ほどまでリングの上で戦っていたのであり、勝利者ならば軽口の一つもたたくところだが、敗者はまだ気持ちの整理がついていない。負けたことを自分に納得させ、なぜ負けたのかを客観視しようと心の中で格闘し言葉を選ぶ選手の姿がある。必然的に選手の口は重くなる。それでも意を決したように質問に対し誠実に一つひとつ答えていく。

「途中いいパンチが当たっているように見えたのですがどうでしたか」
 「レフリーがストップしましたがあのタイミングはどうでしたか」

負けた選手は会長から励まされマネージャーに慰められている中から徐々に自分の気持ちが整理されていく。光を失い沈んでいた眼に少しずつ光が戻ってくる。しかし本当に辛いのはこれからののだ。外の誘惑を断ち切りあれほど練習に打ち込んだのに結果が伴わなかった喪失感であり、虚しさという言葉では表すことの出来ない心の穴を埋めることが辛いのだ。時間だけが解決してくれるとは分かっている、心身ともに打撃を受けている状態から再び立ち上がることを通してのみ強いボクサーへと変わっていきけるのだ。それは誰が助けてくれるものでもなく本人しだいなのだ。たが、負けても周りで見守っている多くのジム仲間や家族や友達がいることを決して忘れてはならない。その輪の中で明日に向かっての一步が始まっていくのだ。

スケジュール

12月26日 三谷大和スポーツジム忘年会

編集後記

ボクシングはアートである。爽やかに、健やかに、そして美しく。団子のように取っ組み合う試合を時たま見るがボクシングとして美しくない。美しくなければボクシングとは言えない。選手諸君! 強く美しい肉体と精神をリングの上で昇華させよう。